



ロータリー財団管理委員会は、ロータリー財団の標語、使命、6つの重要分野（優先事項）を次のように定めています。

■ **ロータリー財団の標語**

「世界でよいことをしよう」

■ **ロータリー財団の使命**

ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること。

■ **6つの重要分野**

- ◇ 平和と紛争予防／紛争解決
- ◇ 疾病予防と治療
- ◇ 水と衛生
- ◇ 母子の健康
- ◇ 基本的教育と識字率向上
- ◇ 経済と地域社会の発展

ロータリー財団モデル

ロータリー財団は、皆様の「寄付」を資金とし、皆様の「プログラム参加」によって地元及び国際社会に貢献しています。

新しいロータリー財団

- ★ ロータリー財団管理委員会は、財団プログラムを大幅に変更しました。
- ★ 新しい財団プログラムへの改革の目的は主として以下の通りです。
 - ① 財団のプログラムと運営を簡素化すること。
 - ② ロータリアンが関心を寄せている世界の優先的ニーズに取り組むことによって、最大の成果が期待できる奉仕活動に焦点を絞ること。
 - ③ 世界的目標と地元の目標の両方を果たすためのプログラムを提供すること。
 - ④ 意思決定権をさらに地区に移行することによって、地区レベルで、ロータリー財団が自分達のものであるという自覚を高めること。
 - ⑤ ロータリー財団の活動に対する理解を深め、ロータリーの公共イメージを高めること。

本日の卓話

「一生、自分の足で歩き続けるためには」
 (株) avenda 代表 プロアスリート治療プロデュース
 中村 和睦氏
 紹介者 樽澤君

ロータリー財団プログラム

ロータリー財団は、以下のプログラムで構成されています。

- **地区補助金**
地区に一括して授与される補助金。
- **グローバル補助金**
2カ国以上のクラブ・地区が6つの重点分野にするプロジェクトを協同提唱し、立案実施する国際プロジェクトに授与される。
- **ロータリー平和フェローシップ**
紛争解決と平和に関する国際問題について研究するためのフェローシップです。
- **ポリオ・プラス・プログラム**
ポリオと共にハンカ、ジフテリア、結核、百日咳、破傷風の五つをプラスして同時追放を目的としている。

卓話



9/4 (木) の卓話は、曙ブレーキ工業株式会社 補修品営業部門営業所統括部 首都圏営業所 所長 福岡正樹氏に「自動車業界のあれこれ」という演題でお話しをいただきました。
 紹介者 中山君

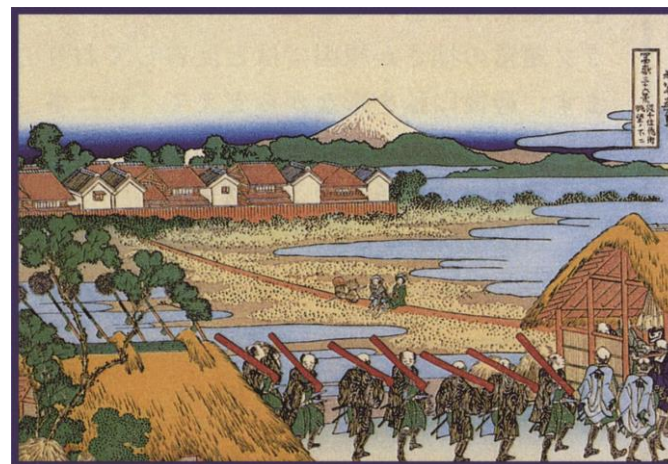
特別寄付	
クラブ基金 鈴木 君	米山特別功労者 鈴木 君
ロータリー財団寄付 鈴木 君	今井 太郎君 谷茂岡 昭君 鈴木 喬君

次回予定 9/18

「日本の近海漁業歴史、現在、将来」
 米山奨学生
 ドンヘゲ マライケ氏
 紹介者 中山君

WEEKLY REPORT

例会日 木曜日 12:30~13:30
 例会場 上野精養軒 TEL.03 (3821) 2181
 事務所 〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-1-5 Aビル6F
 TEL.03 (5637) 4602 FAX.03 (5637) 4611
 http://www.tokyo-kohoku-rc.org



葛飾北斎描く千住より眺望の富士

東京江北ロータリークラブ

会長 原田 寛 / 会長エレクト 戸塚 誠一郎
 幹事 谷中 義雄 / 副幹事 張替 俊光
 会報・IT委員長 小出 康夫

	RI 会長 ゲイリー C.K.ホアン 黄其光
	東京江北RC 会長 原田 寛

第 2657 回 2014 年 9 月 11 日

2014 年 9 月 4 日 第 2656 回例会報告

点 鐘
 国歌 「君が代」
 ロータリーソング 「奉仕の理想」
 来 賓

- **ゲスト (2名)**
福岡正樹氏 (ゲストスピーカー)
大島章裕君 (夏期交換学生)
- **ビジター (1名)**
岩脇彰信氏 (東京王子)

会長報告

- 広島豪雨義援金、受付に募金箱の設置 (9/4~9/18)
- ポリオ募金活動案内掲示
- バギオたよりメールボックス投函
- 「福島にこらんしょ」案内掲示
- ロータリーの友英語版の申込受付

幹事報告

なし

委員会報告

- 職業奉仕委員会…9/1 職業奉仕セミナーに参加
- 社会奉仕委員会…9/4 A E D 贈呈式参加依頼
- 地区ロータリー財団委員会…補助金事業について
- ロータリー財団奨学生カウンセラー報告…須田詩織さんの近況報告

- 会員 55 名中 41 名 出席 75%
- 出席報告 100% (8/28)

ニコニコ (◡ ◡ ◡) ボックス

- 会員お誕生祝 …人見君
- 奥様お誕生祝 …鈴木(敏)君
- ご結婚祝 …中山君
- 原田君 谷中君…大島章裕君、おかえりなさい。ウォールナットクリークで過ごした2週、忘れられない思い出が出来た事でしょうね。報告よろしくお願ひします。
- 中山君…福島様、卓話よろしくお願ひします。
- 長谷君…ルクセンブルグから戻って参りました。今年はとても寒かったです。教え子が東京音楽コンクールで1位並びに聴衆賞を頂きました。
- SAA一同…今月は久しぶりの固定席です。お楽しみください。

合計 29,000 円 累計 891,884 円

夏期交換学生 大島章裕君 帰国報告



2014~15 年度夏期交換学生、大島章裕君がウォールナットクリークから無事帰国され、報告のため来会されました。大島章裕君は8/10 から2週間ウォールナットクリークに滞在され8/24 に帰国されました。

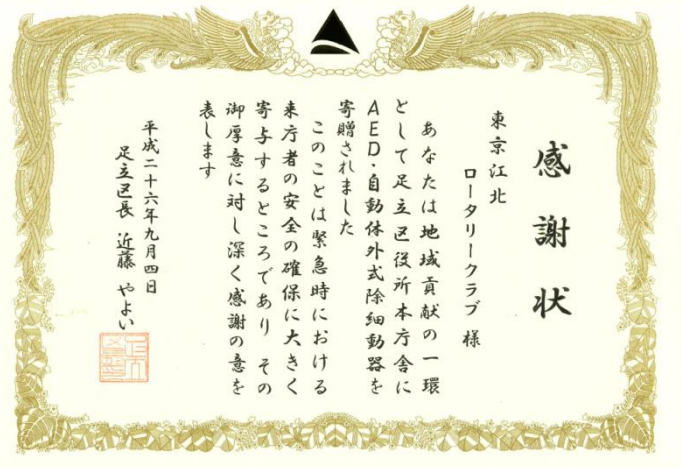


AED贈呈式

2014～15年度ロータリー財団、地区補助金を利用し、東京江北ロータリークラブのプロジェクト足立区役所へAEDを設置する事業が実施され、9/4(木)AED贈呈式が、設置場所である足立区役所中央棟で行われました。



原田会長がご挨拶され、近藤やよい区長より感謝状が授与されました。



寄贈詳細

- ・日本光電AED（自動体外式除細動器）
- ・バッテリーパック
- ・使い捨て除細動パッド
- ・AED用キャリングバッグ
- ・AED/CPRレスキューキッド
- ・AEDスタンド型収納ケース
- ・特注アクリル板（江北寄贈プレート）
- ・トレーニングユニット
- ・CPR訓練人形QQジロー



ロータリー財団 地区補助金
2014～15年度実施プロジェクト
申請→実施まで

●募集プロセス

募集開始：2013年 6月 24日（梅澤年度）
募集締切：2013年 9月 30日
面談：2013年11月 18日
地区選考結果発表：2013年12月 3日
R財団本部審査結果発表：2014年 7月 7日
プロジェクト実施：2014～15（原田年度）

●申請プロジェクト名

「ビューティフル・ウィンドウズ運動による
防犯・防災活動支援」

●申請プロジェクト概要

足立区では、地域や警察ほか関係団体と連携し、犯罪のない美しい住みよいまちをめざす「ビューティフル・ウィンドウズ運動」を展開しています。「美しいまち」は「安心なまち」であることから、幼児から高齢者に至るまでの各年齢層が安心して健康的で、また教育環境に優れたまちとなるように施設、器具その他を充実させています。現在、区役所への来庁者のうち高齢者は毎日平均で約9,000名に達し、特に、高齢者は高齢に伴う突発的な心臓停止を伴うような身体的障害を生じることが多いものです。そこで当クラブとしても、その緊急事態に対処し、来庁者にとって安心できる体制を整えるためにも、今回、AEDを贈呈し、設置していただくようにしたものです。

●プロジェクト費用

総費用予定額：700,000円
クラブ持出金額：300,000円

●申請者 申請時：会長エレクト 原田寛

ロータリー財団補助金

地区補助金とは

ロータリー財団地区補助金は、クラブと地区がロータリー財団の使命を支え、特定の関心に応じて地元や海外の緊要なニーズに取り組むための補助金です。地区の裁量で自由に、人道的、教育的、社会奉仕活動等のプロジェクトを実現できるもので、地区が管理します。

地区補助金概要

- 財源は、地区財団資金（DDF）のみ
- 地区が一括して申請し、一括して補助金を受け取り、地区からクラブに補助金を授与
- 短期間プロジェクト（18ヶ月以内が望ましい）
- 1回限りの小規模プロジェクト
- 奨学金の場合、2年を超えてはならない
- 奨学金の場合、高校、大学、大学院いずれでも可。学校は、国内、海外を問わない。
- 1件当たりのクラブ・プロジェクトまたは地区プロジェクトへの補助金は比較的少額でミニマムの規定はない
- 国内の事業にも、国際レベル事業にも参加可。
- プロジェクトの分野は問わない。地区の裁量で実行可
- 海外のクラブとの事業であっても、地区が主たるスポンサーで申請書を提出し実施と報告の責務を負う

地区補助金の全般的基準と条件

- ロータリー財団の使命を守ること。
- ロータリアンの直接参加を含むこと。
- それぞれの補助金を律する条件を守ること。
- ロータリー財団または国際ロータリーに補助金授与以外の責任を負わせないこと。
- 米国および実施国の法令を守り、個人または団体を傷つけないこと。
- 承認された活動だけに資金を使うこと。
- 既に完了または開始したプロジェクトには補助金を授与しないこと。
- 補助金参加者について定められているConflict of Interest（利害の衝突）の方針に従うこと。
- ロータリー・マークを適切に使用すること。

地区補助金で資金を調達できること

- 人道的プロジェクト
- 職業研修、チームの費用（参加者の資格要件、チームの規模、期間、参加者の年齢の基準等は地区の裁量とする）
- 奨学金（期間は2年以内、専攻分野自由、資格基準や授与額は地区設定、国内でも海外でも可）
- 災害救援
- 地元と海外でのプロジェクトと活動
- ロータリー・クラブのある国およびない国のプロジェクトとその市民を支援する活動
- インフラ（社会基盤）の建設
- 既存建物の増改築、修理

グローバル補助金とは

ロータリー財団グローバル補助金は、財団からの大きな支援の下、より長期的な視点から持続的な活動に参加する機会を提供するものです。財団の使命に関連する以下の重点分野において、多大な影響をもたらす大規模なプロジェクトや活動に補助金を活用できます。

- 重点分野
- ・平和と紛争予防／紛争解決
 - ・疾病予防と治療
 - ・水と衛生
 - ・母子の健康
 - ・基本的教育と識字率向上
 - ・経済と地域社会の発展

クラブと地区は、重点分野の範囲内で、独自のグローバル補助金プロジェクトを立ち上げることができます。

グローバル補助金概要

- 下記の6つの重点分野のいずれかに該当するプロジェクトでなければならない。
- 平和と紛争予防／紛争解決、疾病予防と治療、母子の健康、水と衛生、基本的教育と識字率向上、経済と地域社会の発展。
- 財源はDDFとWFと現金の組み合わせ。
- 人道的プロジェクトの援助国側提唱者は、提唱者による拠出金総額のうち、30%以上を提供するよう義務。
- 長期にわたるプロジェクト。（例外－職業研修チーム）
- 持続性のある成果を上げ、かつ、その成果を測ることができなければならない。大規模のプロジェクト。（予算が少なくとも30,000ドル以上のプロジェクト）
- 奨学金の場合、1年から4年まで。
- 奨学金の場合、重点分野を海外の大学院で学ぶ場合のみ。
- 2カ国以上のクラブまたは地区が参加。国際プロジェクトのみ。
- RCが存在する国および地域のプロジェクトのみ支援。
- Host Sponsor（プロジェクト実施地のクラブまたは地区）と、International Sponsor（海外の援助提供クラブまたは地区）の両者が必要。
- 同時に10件まで申請（地区の場合は、地区補助金を含めて10件）
- 個別のプロジェクトの補助金を受け取った後、プロジェクトに残金がありロータリー財団に返却した場合、WFに組み入れ。
- R財団がプロジェクトを1件1件審査し、補助金を授与。
- プロジェクトに参加するロータリアンの旅費は支給されない。（ただし、職業研修チームのチームリーダーを除く。）

